



調査研究報告会の様子

草津市 総合政策部 草津未来研究所

平成 30 年度事業報告書



UDCBK で開催しているセミナーの様子

目 次

I	草津未来研究所について.....	1
II	事業成果.....	3
1	調査研究活動.....	3
	(1) シンクタンク機能.....	3
	(2) データバンク機能.....	5
2	人材育成活動.....	5
	(1) トレーニング機能.....	5
	(2) プラットフォーム機能.....	6
3	情報発信にかかる活動.....	14
4	その他の活動.....	15
III	運営体制.....	17

I 草津未来研究所について

草津未来研究所は2010(平成22)年4月1日に設立し、以下の目的により自治体の研究所として活動をしている。

【目的】

草津市の未来を見据えた調査研究に基づき、政策を提案し、草津市の政策審議機能の充実に寄与する。

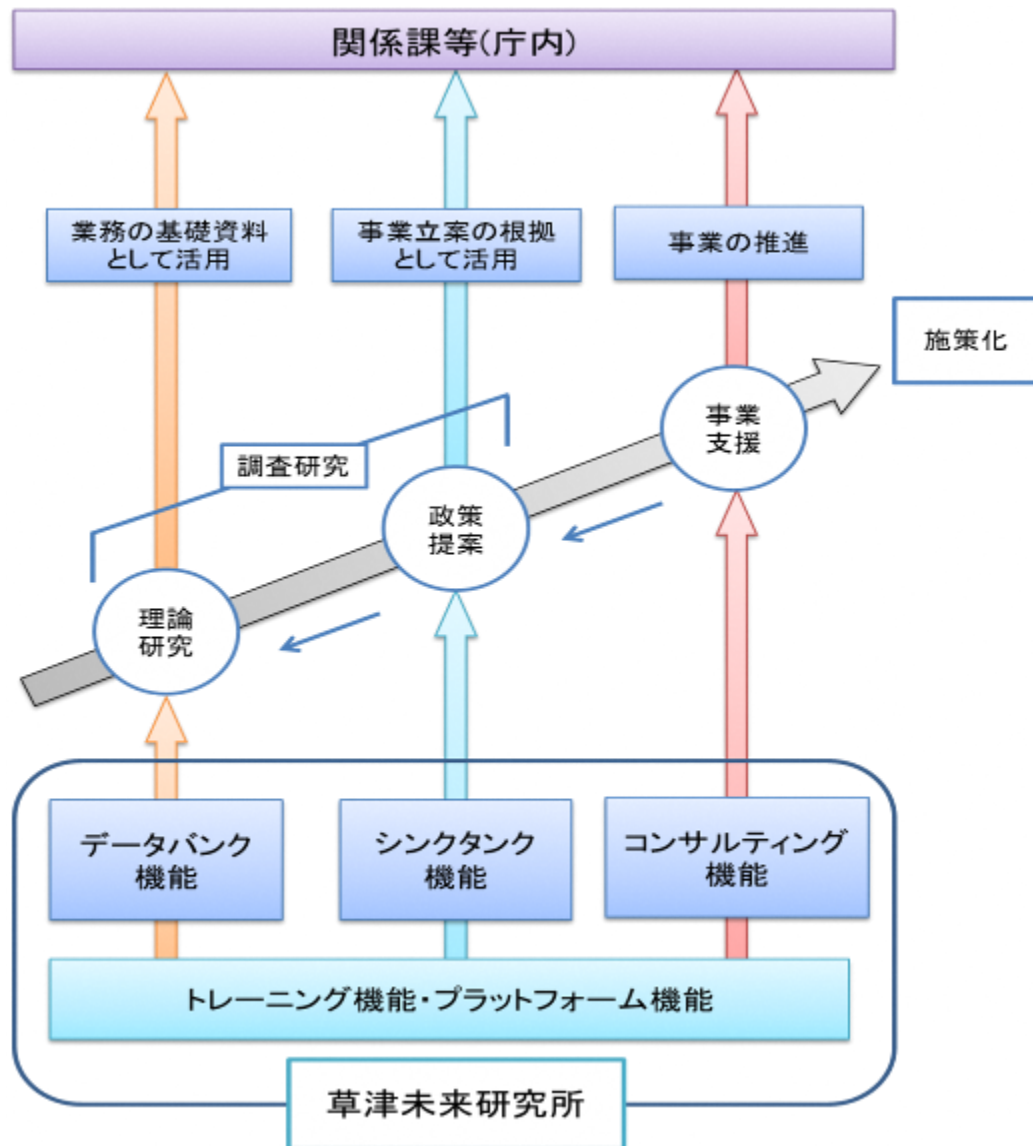
【活動】

草津未来研究所の活動は、本市の政策課題に即しながら、課題解決や政策立案等の政策形成に結びつく調査研究活動と本市における政策形成能力の向上を目指し、職員の政策形成能力の向上と草津市の未来を担う人材の育成を目指す人材育成活動の2つの活動に、以下に示す5つの機能を位置付けて取り組んでいる。

調査研究 活動	① シンクタンク機能 (研究所の中心的活動)	・実践的で戦略的な政策提案
	② データバンク機能	・政策情報の収集・分析・蓄積・発信 ・政策情報の指標化・論点整理
	③ コンサルティング機能	・担当課の業務支援(平成30年度から休止)

人材育成 活動	① トレーニング機能	・地域政策研究「未来塾」
	② プラットフォーム機能	・市民(地域)と学生との連携を生み出す場の形成等 ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業(UDCBK)

【活動イメージ】



Ⅱ 事業成果

1 調査研究活動

(1) シンクタンク機能

① 調査研究

(a) 草津市の高齢人口に関する調査研究

2018（平成 30）年 10 月 1 日現在、日本の高齢人口（65 歳以上人口）は 3,558 万人で、高齢化率は 28.1%となった。1990（平成 2）年に 12.1%であった高齢化率は、約 30 年で急速に進展している。また、少子化、核家族化が進んでいることも相まって、一人暮らし高齢者は 1990（平成 2）年に 11.2%であったものが、2015（平成 27）年には 18.0%と増加している。一人暮らし高齢者は孤食による低栄養のリスクが高い可能性が示唆されている等、課題も指摘されている中、人生 100 年時代と言われる現代において、長くなった高齢期を充実したものにするため、高齢者の生活の満足度向上は重要である。

草津市では現状少子化は進んでおらず、高齢化率も全国と比較して低いものの、年々上昇しており、今後も上昇が続くことが予想される。この上昇は市内一円で同じように進むのではなく、地域によってその進行は異なると考えられ、一人暮らし高齢者が増加することが見込まれる。今後、全国と同様にますます進むことが予測される高齢化に対応するために、各種計画策定時等にも行われているが、まずは現状把握が欠かせない。

そこで本調査研究では本市の各種計画等で取り扱われている高齢人口について、市全体の状況だけでなく地域ごとの特徴も見出すべく、市全体に加え、3つの観点①小学校区・地区別、②家族構成別、③主観的幸福度別から諸調査の結果から高齢人口の分析を行った。最後に、草津市の高齢化にかかる課題の抽出およびこれからの政策の方向性の検討を図った。

(b) 地域活動の活性化に向けた人的資源に関する調査研究

人口増加が続く草津市においても、将来的に人口減少が進むことは明らかであり、平成 30 年 3 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、草津市の将来推計人口は、2035 年に 148,267 人になり、その後減少していくとなっている。このような中、今後の高齢化が進む社会において、地域

活動を活性化するにあたり、退職後の市民が中心となって日常的な活動が行われるという仮定のもと、地域において主体的な活動を期待される60歳前後の市民を対象にアンケート調査を行い、地域活動の中心的な存在となり得る人材や地域活動への参画について、どのように考えているか、市民が必要とする人材や、市民が持つ地域活動に活かすことができる経験や知識について調査研究を行った。

② 都市政策懇話会

中長期の都市づくりに関して広域的かつ横断的な視点から、その目指すべき方向性や具体的な方策について草津未来研究所運営会議委員（学識経験者）の「知」の活用を図り、理事者の政策判断に寄与することを目的とした懇話会を開催した。

【第1回 都市政策懇話会の開催】

	開催日	内 容
第1回	2018(平成30)年 8月10日	テーマ「草津市版住宅セーフティネットの取り組みについて」 ・今後の住宅政策・居住支援の在り方について、学識経験者の意見をいただいた。 話題提供者：建設部 住宅課 課長補佐 高谷 直也

【第1回 都市政策懇話会出席者】

区 分	氏 名	役 職
アドバイザー	松原 豊彦(座長)	学校法人立命館副総長(草津未来研究所所長)
	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授(草津未来研究所相談役)
	肥塚 浩(副座長)	立命館大学大学院経営管理研究科長(草津未来研究所顧問)
	小沢 道紀	立命館大学食マネジメント学部准教授(草津未来研究所副所長)
市側	橋川 渉	草津市長
	北中 建道	草津市副市長
	千代 治之	総合政策部理事
	吉川 寛	建設部長
	西 典子	健康福祉部長
	田中 三男	住宅課長
事務局	江南 嘉宏	総合政策部草津未来研究所参事
	中瀬 明美	総合政策部草津未来研究所(UDCBK)参事
	橋本 千秋	総合政策部草津未来研究所主査

(2) データバンク機能

① 地域別人口推計

住民基本台帳人口に基づく、市域全体と学区・地区別の将来推計人口を算出した。

推計の方法：コーホート変化率法

基準日：各年3月31日

地域の単位：14小学校区

推計の単位：1年毎、1歳毎

② 政策情報の整理

住民基本台帳に基づく人口と世帯に関するデータの追加・更新を行った。

2 人材育成活動

(1) トレーニング機能

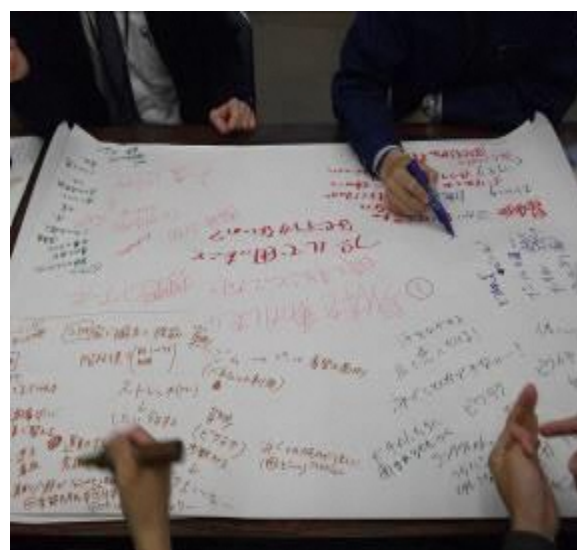
- ・地域政策研究「未来塾」の実施



2018(平成30)年度、講師に薮田雪子氏(ワークショップデザイナー)を迎え4回開催

	開催日	内容(テーマ)	参加人数(人)
第1回	2018(平成30)年 10月11日	【テーマ】ワークショップとは何か。 【内容】ワークショップとは何かということを理解する。	26

第2回	2018(平成30)年 11月8日	【テーマ】ワークショップデザインとは何か。 【内容】ワークショップデザインとは何かということを理解する。	22
第3回	2019(平成30)年 11月22日	【テーマ】今の自分と未来の自分 【内容】一人でワークショップをデザインしてみる。	9
第4回	2018(平成30)年 11月29日	【テーマ】一人ではできないから面白い。 【内容】グループでワークショップデザインしてみる。	15



(2) プラットフォーム機能

① 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

環びわ湖大学・地域コンソーシアムの事業として、草津市では下記2件の大学地域連携課題解決支援事業が採択された。

また、2018(平成30)年11月18日に、大津市明日都浜大津で開催した「環びわ湖大学地域交流フェスタ2018」における運営に携わった。

提案団体	連携大学・自治体	取組テーマ
立命館大学 スポーツ健康科学部	草津市教育委員会 スポーツ保健課	アクティブライフスタイルを誘発する戦略的ヘルスプロモーションの検討ーくさつ健幸ウォークがもたらす参加者の行動変容ー
龍谷大学 理工学部	草津市広報課、 草津川整備跡地課	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作～旧草津川跡地公園～

② 滋賀県立湖南農業高等学校との協定



草津市と滋賀県立湖南農業高等学校との協力に関する協定書調印式を行い、調印式後には、湖南農業高等学校生徒によるあおばなに関する活動発表があった。

草津市では、これまでも、同校と農業を基軸とした連携・協力に取り組んできたが、今回の協定締結により、地元産の農作物の

生産、加工、流通、また農業を通じた地域の活性化、市の花であるあおばなの振興、人材の育成など多岐にわたる協力関係のさらなる礎を築いていく。

③ アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）事業

(a) アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）事業の運営方針の検討、運営状況の確認等を行うとともに、法人化の妥当性について助言をいただくことを目的に設置した。

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会委員】

区分	氏名	所属
座長	松原 豊彦	学校法人立命館副総長（草津未来研究所所長）
副座長	山本 芳一※	草津市副市長
委員	及川 清昭	立命館大学理工学部教授・キャンパス計画室長 （アーバンデザインセンターびわこ・くさつセンター長）
	肥塚 浩	立命館大学大学院経営管理研究科長（草津未来研究所顧問）
	岡本 直輝	立命館大学 BKC 地域連携室長（スポーツ健康科学部教授）
	中村 茂樹	草津市まちづくり協議会連合会
	堀江 尚子	市民公募（認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト代表）
	服部 忠満	パナソニック株式会社アプライアンス社 人事・総務センター総務部総務一課主務
	肥田 明久	株式会社滋賀銀行草津支店長
	加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
	神部 純一	滋賀大学社会連携研究センター教授
	秦 憲志	滋賀県立大学地域共生センター主席調査研究員
遠藤 俊子	京都橘大学副学長	

	青木 均	草津市コミュニティ事業団常務理事
	松浦 昌宏	滋賀県医科大学研究戦略推進室産学連携推進部門長 特任教授
	深尾 昌峰	龍谷大学政策学部教授 龍谷エクステンションセンター・センター長

※年度途中で委員及び委員役職変更あり

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会の開催】

	開催日	内 容
第1回	2018(平成30)年 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> 懇話会委員自己紹介 前年度の活動テーマと実績について 今年度の活動テーマと予定について 法人化の検討状況について
第2回	2018(平成30)年 10月4日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度(前期)活動実績および(後期)活動計画について 法人化の検討状況について
第3回	2019(平成31)年 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業実施状況について 平成31年度実施予定事業について 法人化検討ワーキング部会(報告)について

(b) アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業の更なる事業展開を見据えて法人化の方向性を検討することを目的に設置した。

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会委員】

区分	氏名	所属
座長	肥塚 浩	立命館大学大学院経営管理研究科長(草津未来研究所顧問)
委員	及川 清昭	立命館大学理工学部教授・キャンパス計画室長 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつセンター長)
	加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
オブザーバー	出口 昌良	立命館大学びわこ・くさつキャンパス事務局長
	千代 治之	草津市草津未来研究所副所長

【アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業法人化検討ワーキング部会の開催】

	開催日	内 容
第1回	2018(平成30)年 4月24日	<ul style="list-style-type: none"> 委員自己紹介 前年度の活動の振り返り 法人化検討スケジュール

		<ul style="list-style-type: none"> ・想定する法人組織および構成員（案） ・現組織運営体制・人件費について ・（法人化した場合の）年間歳入歳出シミュレーション ・（法人化した場合の）人員体制（案） ・議論すべきポイントについて（費用面、収入面、人材面） ・その他、必要事務手続きについて
第2回	2018(平成30)年 8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・アーバンデザインセンターびわこくさつ事業法人化ワーキング部 会設立について ・UDCBK 設立の背景と法人化の意義 ・UDCBK のミッション ・UDCBK の主たる事業 ・UDCBK 法人化にあたっての組織課題 ・UDCBK 法人化後の組織について ・課題状況の整理（整理した事項および未整理の事項）
第3回	2019(平成31)年 1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回ワーキング部会の振り返り ・UDCBK 運営懇話会での検討状況 ・組織改編の基本枠組み

(c) アーバンデザインスクール

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業において、市民と専門家の間をとりもつ専門家、及び地域の専門家の育成を目的に「アーバンデザインスクール」を実施した。前期は「歩いて巡る地域の魅力の伝え方」、後期は「情報と都市」をテーマに各5回実施した。

【前期】

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	2018(平成30)年 6月16日	タイトル：「草津の歴史と自然」（カルチャー） 講演者：馬場将史氏（草津市教育委員会 文化財保護課）	23
第2回	2018(平成30)年 7月21日	タイトル：「草津市の歴史的建造物」（ストラクチャー） 講演者：青柳憲昌氏（立命館大学 理工学部准教授）	23
第3回	2018(平成30)年 8月25日	タイトル：「地域文化のストーリーのつくりかた」 （ストーリー） 講演者：丁野朗氏 （東洋大学大学院 国際観光学部 客員教授）	15

第4回	2018(平成30)年 9月29日	タイトル：「快適に歩ける歩行空間」 (ストリート、プレイス) 講演者：石川亮氏 (成安造形大学 附属近江学研究所准教授)	22
第5回	2018(平成30)年 10月27日	タイトル：ワークショップ 「歩いて巡りたくなる地域のアイデア」 講演者：藤井健史氏 (立命館大学 理工学部助教)	21

コーディネーター：及川清昭氏 UDCBK センター長(立命館大学理工学部教授)

【後期】

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	2018(平成30)年 11月21日	テーマ：「情報と都市」 講 師：豊田啓介氏 (建築家/noiz 共同主宰/ gluon 共同主宰)	39
第2回	2018(平成30)年 12月5日	テーマ：「人口知能の今」 講 師：西田豊明氏 (京都大学大学院 教授/会話情報学) 聞き手：豊田啓介氏 (建築家/noiz 共同主宰/ gluon 共同主宰)	36
第3回	2019(平成31)年 1月9日	テーマ：「都市情報と建築不動産ビジネス」 講 師：黒田哲二氏 (UDS 株式会社 執行役員)	19
第4回	2019(平成31)年 2月22日	テーマ：「都市情報とテクノロジー」 講 師：西尾信彦氏 (立命館大学 教授/ユビキタス環境) 服部宏充氏 (立命館大学 准教授/社会シミュレーション) 聞き手：豊田啓介氏 (建築家/noiz 共同主宰/ gluon 共同主宰)	20
第5回	2019(平成31)年 3月20日	テーマ：「情報と都市政策」 講 師：四塚善弘氏 (滋賀県土木交通部 管理監/地域公共交通担当) 辻野恒一氏 (滋賀県土木交通部 技監/安心と活力の地域づくり担当) 聞き手：豊田啓介氏 (建築家/noiz 共同主宰/ gluon 共同主宰)	16

コーディネーター：武田史朗氏 (立命館大学理工学部教授/UDCBK 副センター長)

(d) 未来創造セミナー

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業の4つの機能(学習・交流、調査研究、社会実験、情報発信)のうち、学習・交流機能として実施した。

	開催日	内 容	参加人数 (人)
第1回	2018(平成30)年 7月24日	テーマ:「わたしがつくる“健幸都市くさつ” ～草津の課題分析・未来構想を考える～」 講師:山元圭太氏(合同会社喜代七代表)	20
第2回	2018(平成30)年 8月24日	テーマ:「未来を創るひとの健幸づくり」～IoTが創る みらいのカラダ・健康～ 講師:李相烈氏(オムロン株式会社イノベーション推進 本部 SDTM 推進室)	21
第3回	2018(平成30)年 9月11日	テーマ:「SDGsからみる未来のまちづくり～イノベーシ ョン(技術革新)からSDGsを考える～」 講師:建山和由氏(学校法人立命館常務理事 EDGE+R プ ログラム統括責任者 立命館大学理工学部教授)	23
第4回	2018(平成30)年 10月19日	テーマ:「チャレンジ!!オープンガバナンス(COG)2018 ～アイデアを生み出す市民と行政の連携の場 づくり～」 講師:奥村裕一氏(COG2018運営コーディネーター/東京 大学公共政策大学院客員教授)	20
第5回	2018(平成30)年 11月6日	テーマ:「SDGsからみる未来のまちづくり～SDGsは、環 境・社会・経済の“三方よし”～」 話題提供者:森口誠人氏(滋賀県商工政策課) 湯浅まゆ氏(滋賀県都市計画課)	20
第6回	2018(平成30)年 12月7日	テーマ:「SDGsからみる未来のまちづくり～SDGsで地域 社会をイノベート!～」 話題提供者:嶋崎良伸氏 (株式会社滋賀銀行CSR室長)	20
第7回	2018(平成30)年 11月17日	テーマ:植本祭の練習会「おすすめしたい本を持参し て、まちライブラリーを体験しよう!!」 話題提供者:磯井純充氏 (まちライブラリー提唱者)	9
第8回	2018(平成30)年 12月15日	テーマ:植本祭企画ワークショップ ～みんなで作る植本祭～ 企画・進行:伊藤芳治氏(立命館大学理工学部建築部都 市デザイン学科4回生) 講師:黒田晴美氏(コーチングオフィス AUBE PROJET 代 表) 山内菜都海氏(リバブルシティ研究家)	5
第9回	2019(平成31)年 3月17日	テーマ:集う.繋がる植本祭 ～みんなで作る街の図書館～ 企画・進行:伊藤芳治氏(立命館大学理工学部建築部都 市デザイン学科4回生) 幡野遥氏(立命館大学理工学部建築部都市 デザイン学科3回生)	18

第 10 回	2019(平成31)年 1月19日	テーマ：シリーズ 「駅からひろがるまちづくり」 【第1回】～南草津駅はこうしてできた～ 講師：岡村栄子氏 (JR西日本コンサルタンツ環境デザイン部長) 小嶋伸一氏 (JR西日本デイリーサービスネット工務部長)	18
第 11 回	2019(平成31)年 2月9日	テーマ：シリーズ 「駅からひろがるまちづくり」 【第2回】～これからの地域公共交通のあり方について～ 講師：芝久生氏 (滋賀県土木交通部交通戦略課参事)	30
第 12 回	2019(平成31)年 3月2日	テーマ：シリーズ 「駅からひろがるまちづくり」 【第3回】～南草津駅周辺のこれまでとこれから～ 講師：田邊好彦氏 (草津市都市計画部都市再生課参事)	15

(e) UDCBK 社会実験事前調査事業

大学を活かしたまちづくりの一環として、草津市をフィールドとし、大学との連携による研究成果の草津市への適用可能性や新たな技術や制度の社会的受容の条件等について市民とともに検証するため、市が設定したさまざまな分野にわたる6つのテーマを設定し、市と包括協定を締結している大学（立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学）を対象に募集を行い、下記の2大学（3事業）で実施した。

【草津市社会実験事前調査事業一覧】

提案大学	概要
立命館大学	歩きやすいまちを実現するためのIoT自転車を活用した調査
立命館大学	日本遺産「水と祈りの水辺景観」芦浦観音寺 観音寺納豆再現プロジェクト
滋賀医科大学	高齢期に想定されるリスクを考え、“幸せな人生”のあり方をアップデートするためのリスク対応能力涵養のためのアナログゲーム 開発事業

(f) 共催イベント

市役所各課、及び包括協定締結大学と協働で下表の事業を実施した。

【共催イベント】

	開催日	タイトル	共催者
1	2018(平成30)年 4月25日～5月23日	立命館大学理工学部 卒業設計作品展示	立命館大学

2	2018(平成30)年 5月23日	UDCBK×草津商工会議所×草津おみやげ隊 草津、いいもの、みんなではなそ！ ～草津のいいものを発掘し、 草津ブランドを育てましょう！～	草津商工会議所
3	2018(平成30)年 6月8日～7月5日	教科書展示	教育委員会
4	2018(平成30)年 7月11日	市長と「食」と学生生活を語ろう	立命館大学
5	2018(平成30)年 7月12日	COG2018に関する市長、奥村先生、 市民団体、市職員との意見交換会	
6	2018(平成30)年 8月31日	重点プロジェクトをみんなで考えるオープン ワークショップ in UDCBK	生涯学習課
7	2018(平成30)年 9月5日	UDCBK×SDP デザイントークセッション Observation×Construction	立命館大学
8	2019(平成31)年 1月16日～26日	写真展「鉄道とまち」	草津宿街道交流館
9	2019(平成31)年 1月29日～2月9日	研究展示「滋賀県の鉄道」	立命館大学
10	2019(平成31)年 2月9日	Nゲージのデモ壮行会	立命館大学
11	2019(平成31)年 2月23日	社会実験事前調査事業成果報告会	立命館大学 滋賀医科大学
12	2019(平成31)年 2月26日～3月12日	人権作品展示	人権センター

(g) オープンスペースを活用した定例イベント

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）のオープンスペースを利用して、「やさしい にほんご さろん」を定期的実施した。

やさしい にほんご さろんとは、外国にルーツを持つ人と日本人がやさしい日本語で交流を深めつつ、草津のまちづくりについて考えるきっかけを提供することを目的に、毎週火曜日の午前10時から正午までと毎月第3金曜日の午後6時から午後8時まで開設している。平成30年度は特別企画として平成30年9月21日の金曜日に立命館大学ボードゲームサークル SOIL&SOUL との共同企画として「ボードゲームで楽しく知る 異文化で育った人の草津の“暮らし”～誰でもが住みやすい草津のまちを考える～」と題したセミナーを開催した。

3 情報発信にかかると活動

(1) 未来通信

インターネットや新聞、情報誌等の外部から得た政策に役に立つ情報を整理し、市職員に向けて電子掲示板に掲載した。今年度はNo. 94 から No. 102 まで発行した。

(2) ニュースレター

草津未来研究所の活動内容等を紹介するニュースレターを発行した。

	発行月	内容
第 22 号	2018(平成 30)年 9 月	・ 巻頭言 草津市「健幸都市」の取組への期待 滋賀医科大学 教授 三浦克之氏 ・ 2018(平成 30)年度調査研究テーマ

(3) ホームページ

2017(平成 29)年度調査研究報告書、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK) 事業の情報など、市のホームページへの掲載や Facebook などでも随時情報発信を行った。



(4) 調査研究報告書

2017(平成 29)年度調査研究の報告書を作成し、以下のとおり配付した。

- ・ 調査研究会メンバー
- ・ 草津市議会議員、庁内各課及び副部長級以上
- ・ 自治体シンクタンク等 16 箇所
- ・ 包括協定 7 大学
- ・ 調査研究報告会参加者
- ・ 草津未来研究所役員



(5) 調査研究報告

2017(平成 29)年度に実施した調査研究について庁内外に向けて報告会を開催した。

開催日	主 催	内 容
2018(平成30)年 6月12日	草津未来研究所	「2017(平成 29)年度に実施した草津未来研究所調査研究にかかると報告会」 場所：草津市役所 8 階大会議室 参加者：12 名 ・草津市における雇用の概観に関する調査研究 ・市民調査に基づく「住みやすさ」に関する調査研究

4 その他の活動

(1) 大学生インターンの受入

立命館大学協定型インターンシップにより 8 月の 5 日間、研修生 1 名を受け入れた。

草津市立図書館にて、資料の収集や貸出、読書相談などの業務を通じて、公共図書館のサービスと運営についての現状を現地での研修を通じて体験してインターンシップ研修を終了した。

(2) 自治体シンクタンク研究交流会議に出席 (出席者：所長・主任研究員)

栃木県宇都宮市で開催された第 6 回自治体シンクタンク研究交流会議 (2018(平成 30)年 11 月 16 日・17 日) では、「自治体における政策研究の意義」をテーマとした講演や、「自治体シンクタンクの役割と位置づけ」をテーマとしたパネルディスカッション、「政策研究における調査研究手法」「持続可能なまちづくり」をテーマとしたグループディスカッションが行われた。次回の自治体シンクタンク研究交流会議は、大阪府豊中市で開催予定。



第 6 回自治体シンクタンク研究交流会議

(3) 視察の受け入れ

11 団体の視察を受け入れ、大学と連携した自治体内シンクタンクの機能等について説明を行った。

受け入れ日	都道府県	視 察 団 体	受け入れ先
2018(平成 30)年 5 月 16 日	宮城県	名取市議会 総務消防常任委員会	未来研・UDCBK
6 月 26 日	千葉県	柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)	UDCBK
7 月 4 日	新潟県	柏崎市議会 総務常任委員会	未来研・UDCBK
7 月 25 日	滋賀県	大津市議会・草津市議会	UDCBK
7 月 31 日	大阪府	追手門学院大学	UDCBK
10 月 25 日	東京都	足立区議会 総務委員会	未来研・UDCBK
10 月 30 日	奈良県	桜井市議会	未来研
11 月 5 日	長野県	伊那市議会 新風会	未来研
12 月 13 日	栃木県	宇都宮市役所 総合政策部	未来研
2019(平成 31)年 1 月 23 日	長野県	長野市議会	UDCBK
1 月 24 日	埼玉県	上尾市議会 新政クラブ	未来研・UDCBK

(4) 幸せリーグ (出席者：主任研究員)

東京都荒川区が設立した「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」に参加している。（2018(平成 30)年 8 月 20 日現在、100 自治体に参加）

実務者会議第 3 グループに属し、「人口減少・少子高齢化・雇用問題」について調査研究を行った。（2 カ年調査の 2 年目）

Ⅲ 運営体制

【スタッフ】

職名	氏名	役職
所長	松原 豊彦	立命館大学食マネジメント学部教授
相談役	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授
顧問	肥塚 浩	立命館大学大学院経営管理研究科長
副所長	小沢 道紀	立命館大学食マネジメント学部准教授
副所長	千代 治之	草津市総合政策部理事
調整員	本村 廣司	草津市産学公民連携調整員
主任研究員	江南 嘉宏	草津市総合政策部草津未来研究所参事
UDCBK	中瀬 明美	草津市総合政策部草津未来研究所参事
UDCBK シニアディレクター	溝内 辰夫	草津市総合政策部草津未来研究所参事
研究員	橋本 千秋	草津市総合政策部草津未来研究所主査
UDCBK	中西 稔	草津市総合政策部草津未来研究所主査
再任用	林沼 敏弘	草津市総合政策部草津未来研究所主査
臨時職員	田中 志能奉	草津市総合政策部草津未来研究所
臨時職員 (UDCBK)	田中 清子	草津市総合政策部草津未来研究所

(2019年3月末現在)

【運営会議の開催】

	開催日	開催内容
第1回	2018(平成30)年 6月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の体制について ・2017(平成29)年度事業実績・調査研究について ・2018(平成30)年度事業計画・調査研究について
第2回	2018(平成30)年 8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・UDCBK 運営事業について ・各調査研究の進捗状況報告 ・未来塾について
第3回	2018(平成30)年10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・UDCBK 運営事業について ・各調査研究の中間報告 ・湖南農業高校との協力協定締結について ・次年度の取り組みについて
第4回	2019(平成31)年 2月 5日	<ul style="list-style-type: none"> ・UDCBK 運営事業について ・2018(平成30)年度の各調査研究報告 ・2019(平成31)年度予算について ・2019(平成31)年度調査研究テーマ(案)について

草津市総合政策部草津未来研究所
平成 30 年度事業報告書

2019年3月 発行

草津市 草津未来研究所

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号

TEL 077-561-6009 FAX 077-561-2489

E-Mail kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)

〒525-0059 滋賀県草津市野路 1 丁目 13 番 36 号 西友南草津店 1 階

TEL 077-562-3932 FAX 077-562-9323